

新型コロナウイルス感染予防対策 —自分自身とキャンパスに集うみんなのために守るべきこと—

感染力が強く、潜伏期間が短いオミクロン株の感染拡大が続いています。この状況下でキャンパスライフを維持するには、次のことが必要です。

- ・皆さんの一人ひとりが感染予防対策の趣旨を正しく理解し、きちんと守ること
- ・皆さんや周囲の人が新型コロナウイルス検査で陽性となったときに、適切な対応をとってさらなる感染拡大を防ぐこと

ルール1：発熱や体調不良のときは登校しない

発熱や新型コロナウイルス感染症の症状（咳、咽頭痛、息切れ・呼吸困難、倦怠感、頭痛、筋肉痛、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、吐き気、下痢など）を伴う体調不良がわずかでもある場合には、外出を自粛して健康観察を行うことを徹底してください。

※ 保健管理センターHPから【COVID-19自宅待機報告】をして、指示に従ってください。

再登校を開始する前に、保健管理センターの登校許可面接が必要です。



ルール2：“濃厚接触”に相当する行為をしない

① 濃厚接触を避けるためには

不織布マスクを正しく着用する



隙間なく
口と鼻を覆う

飛沫抑止効果が十分な不織布マスクを正しく着用し、隙間なく口と鼻を覆うことは、濃厚接触を発生させないための基本です。



鼻出しマスク



顎マスク

不完全な着用は未着用と同じです。

② 濃厚接触に相当する行為の例



- ・パーティションがあっても、飲食中に会話をした場合は濃厚接触に相当します。
- ・パーティションがないテーブルで一緒に飲食をした場合は、会話をしていなくても濃厚接触に相当します。

マスクを外す飲食時は感染リスクが極めて高くなります。
→パーティションがあるテーブルで**“黙食”**してください。



少なくとも一方がマスクを着用していない状態での会話や1m以内の接近は濃厚接触に相当します。



マスクを着用していても、密接したり、近くで大声を出したような場合は、濃厚接触に相当します。



狭い部屋に長時間いるカラオケや正対する状態で長時間過ごすボードゲーム、麻雀などは濃厚接触に相当します。

ルール3：“濃厚接触”に相当したと考えられるときは相手を記録する

マスクを着用していない状態での会話や1m以内の接近、マスクを着用していても、狭い場所で一緒に長時間いたり、密接するなど、濃厚接触に相当したと考えられるときは、相手を記録して、新型コロナウイルスに感染したさいに、すぐに連絡がとれるようにしてください。